

【プレスリリース】

2020年9月7日

裏面照射型 CMOS 採用 2,447 万画素カメラをリリース



<BU2409M シリーズ>

映像システムソリューションの専門企業・東芝テリー株式会社（東京都日野市、社長・井村 和久）は、裏面照射型 2,447 万画素(IMX540)の CMOS センサ(※1)を搭載し、USB3(※2)インターフェースを採用した BU2409M シリーズの販売を 2020 年 10 月より開始いたします。

1 画素 2.74 μ m で C マウントカメラとして高解像度化を実現し、有効画素数は 5,320(H) x 4,600(V)でフレームレート(※3)は最大 15fps での高速取り込みを実現しています。白黒モデルとカラーモデルをリリースします。

■主な特長

1. 当社開発の高速応答性

当社独自開発の Teli Core Technology を搭載し、CPUレスを実現しました。

2. 小型・軽量

マウント部および突起部を除くカメラ本体部は 29 mm(幅) x 29 mm(高さ) x 29.5 mm(奥行)と業界最小クラスの小型で、質量は約 33g と軽量です。組み込み用途に最適です。

3. USB3 インターフェース

USB3 インターフェースの採用により、PC への接続が容易です。また長尺ケーブルに対応が可能であるため装置組み込みが容易です。

詳細は 東芝テリー営業部第 1 営業担当 [TEL:042-589-8775](tel:042-589-8775) までお問い合わせください。

東芝テリー株式会社

東芝テリー株式会社
〒191-0065 東京都日野市旭が丘 4-7-1

<https://www.toshiba-teli.co.jp/>

◆報道関係者様からのお問い合わせ先

東芝テリー株式会社

営業部

営業管理担当（担当：奈良 広志）[TEL:042-589-7582](tel:042-589-7582) FAX:042-589-8774

e-mail:h-nara@toshiba-teli.co.jp

<URL> <https://www.toshiba-teli.co.jp/>

※製品写真等のデータファイルをご要望の方はその旨お知らせください。

【用語解説】

※1: CMOS センサ

CMOSとは、Complementary Metal Oxide Semiconductor (相補性金属酸化膜半導体)の略。LSIやメモリでは一般的な半導体。CMOSセンサは画素ごとにフォトダイオードとアンプを配置しそれを読み出すことで画像を出力するものをいう。

※2: USB3

Universal Serial Bus の略で、米インテル、米マイクロソフトなど7社が共同で発表した、パソコン用のシリアルインターフェース規格。データ転送速度には、12Mbps のフル・スピード・モードと 1.5Mbps のロー・スピード・モードがある。2007年9月に発表された USB3.0、USB3.1 Gen1 では転送速度 5Gbps、さらに USB3.1 Gen2 では 10Gbps となる。転送プロトコルは産業用途で信頼性の高い USB3 Vision を採用。

◆USB3 Vision は、AIA(Automated Imaging Association)の商標または登録商標です。

※3: フレームレート=frame rate

フレームレートとは、カメラが一秒間に何枚の画像を取り込めるかということを示す数値で、通常fps(=frame per second)と表記される。たとえば、60fpsならば毎秒60枚の取り込みが可能という意味となる。